

【点検個票 記入方法 地すべり防止施設(1/5)】

事務所名		区域の名称(点検単位)		施設区分	
大津土木事務所		栗原2		水路工、横ボーリング、落差工、片法砕工	
地すべり防止区域 諸元		整理番号	区域名	指定年月日および告示番号	面積(ha)
			栗原2	S38.6.28 第1448号	15.112
基礎調査 番号等	区域番号	区域名	警戒告示番号	備考	
	1001	栗原	県告第33号		
施設諸元				維持管理の履歴	
位置	郡・市	町・村	大字 (丁)	字	日付
	大津市	-	栗原	-	R4.1.7
工種	2-9-⑧ 横ボーリング	2-16-⑨ 第7排水溝	2-16-⑨ 落差工	2-22 床固工	点検の種類
	4		2	1	定期点検
基・本					部位 損傷形態
延長		80.0m		23.0m	変状レベル
高さ				4.7m	部位 損傷形態
面積					変状レベル
立積					部位 損傷形態
竣工年月日	S.41.3.25	S.43.3.25	S.43.3.25	S.45.3.20	変状レベル
施工年度	S.40	S.42	S.42	S.44	部位 損傷形態
工事費	566,000	-	-	8,490,000	変状レベル
費目	地すべり	地すべり	地すべり	地すべり	部位 損傷形態
					変状レベル
位置図					全景写真
緯度・経度 35° 9' 54.82" 135° 54' 5.00"					
平面図・構造一般図					

【点検個票 記入方法 地すべり防止施設(2/5)】

【地すべり防止施設 健全度評価表】

施設概要のシートから自動入力

点検日

令和5年4月25日

事務所名	区域名(点検単位)	施設区分
大津土木事務所	栗原2	水路工、横ボーリング、落差工、片法砕工

健全度評価点					健全度	特記事項
評価クラス	I	II	III	IV		
c評価点	0	2	0	0	C-1	
b評価点	4	0	0	0		

変状レベルと配点から自動入力

健全度評価点から自動入力
任意で変更する場合は直接記入

健全度を任意で変更した
際に理由等を記入

湧水状況を記入。
湧水無→1、湧水有→2

湧水状況※

2

施設区分	部位群	部 位	評価クラス	構造	評価点		損傷形態	変状レベル	配 点	
					変状c	変状b				
抑制工	地表水 排除工	水路工 集水枡 落差工	Ⅱ	水路(鋼材)	0	0	腐食・劣化	a	1	
			Ⅱ	水路(コンクリート)	1	0	損傷・変形	c	1	
			Ⅱ	コンクリート	1	0	土砂堆積	c	1	
		横ボーリン グ工		Ⅰ	孔口保護・集水枡	0	0	劣化・腐食・損傷・変形	a	2
				Ⅰ	集水枡	0	0	土砂堆積	a	2
				Ⅰ	集水管	0	0	劣化・腐食・損傷・変形	a	2
				Ⅰ	集水管孔口	0	4	閉塞	b	2
				Ⅰ	本体	0	0	腐食・劣化	-	2
				0		0	損傷・変形	-	2	
				0		0	劣化・損傷・変形	-	2	
				Ⅰ	集水管孔口	0	0	閉塞	-	2
				Ⅰ	排水管孔口	0	0	劣化・損傷・変形	-	2
		Ⅰ	排水管孔口	0	0	閉塞	-	2		
		排水 トンネル工		Ⅰ	本体	0	0	腐食・劣化	-	2
				0		0	損傷・変形	-	2	
				Ⅰ	排水路	0	0	腐食・劣化	-	2
				0		0	損傷・変形	-	2	
				Ⅰ	集水管孔口	0	0	閉塞	-	2
Ⅰ										
抑止工	アンカー工	本 体 頭 部 受圧板	Ⅰ	アンカー筋	0	0	飛び出し・引き抜け	-	2	
			Ⅰ	コンクリート	0	0	劣化・損傷・変形	-	2	
			Ⅰ	キャップ	0	0	腐食・損傷・変形	-	2	
			Ⅰ	一般	0	0	劣化・損傷・変形	-	2	
			Ⅰ	ワイヤー系	0	0	損傷・ゆるみ	-	2	
	法砕工		Ⅱ	コンクリート	0	0	ひび割れ・破損	a	1	
	杭工・シャフト工		Ⅱ	鋼 材	0	0	損傷・傾動	-	2	
	擁壁工		Ⅱ	コンクリート	0	0	ひび割れ	-	1	
			Ⅱ		0	0	変 形	-	2	
			Ⅱ		0	0	沈 下	-	2	
河川構造物	堰堤工 床固工 帯 工		Ⅲ	コンクリート 石 積	0	0	ひび割れ	a	1	
			Ⅲ		0	0	欠 損	a	1	
			Ⅲ		0	0	洗 掘	a	1	
	護岸工		Ⅲ	底 盤	0	0	磨 耗	-	1	
			Ⅲ		0	0	ひび割れ	-	1	
			Ⅲ		0	0	洗 掘	-	1	
附帯工	管理施設(安全設備)	Ⅳ	-	0	0	損傷・劣化	-	1		

点検結果の入力セル

対象施設に含まれている部位・構造ごとに変状レベル
a、b、cを記入。
対象施設に含まれない部位・構造には「-」を記入

【点検個票 記入方法 地すべり防止施設(3/5)】

地すべり防止施設点検カルテ 点検シート

地すべり防止区域名:

栗原2

施設概要のシートから自動入力

点検日時: 令和5年4月25日

点検者:

記入者:

点検日、点検者、
記入者を記入。

所在地			所管
市・郡	区・町・村	大字	
大津市	-	栗原	大津土木事務所

点検項目	数量	単位	点検で確認された不具合	前回の点検			今回の点検		
				変状レベル	写真番号	備考	変状レベル	写真番号	備考
1. 地表水排除工	378	m	水路(鋼材): 腐食・劣化	a		その他 (泥炭・土壌)	a		その他 (泥炭・土壌)
			水路(コンクリート): 損傷・変形	c	写-12・23・25・29		c	写-12・23・25・29	
			土砂堆積	c	写真-18・19		c	写真-18・19	
			その他	c	写-5・20		c	写-5・20・39・40	
2. 横ボーリング工	4本	m	孔口保護・集水槽 劣化・腐食・損傷・変形	a			a		
			集水槽 土砂堆積	a			a		
			集水管 劣化・腐食・損傷・変形	a			a		
			孔口 閉塞	a			b	写真-46	
			その他	a			a		
3. 集水井工		基	本体 腐食・劣化	-			-		点検後、点検項目 に対応する写真帳 の写真番号を記入。
			本体 損傷・変形	-			-		
			集水管孔口 劣化・損傷・変形	-			-		
			集水管孔口 閉塞	-			-		
			排水管孔口 劣化・損傷・変形	-			-		
4. 排水トンネル工		m	本体 腐食・劣化	-			-		点検時に記入。 変状レベルをa、b、cで 記入し、点検項目の部 位がない場合は、「-」を 記入。
			本体 損傷・変形	-			-		
			排水路 腐食・劣化	-			-		
			排水路 損傷・変形	-			-		
			集水管孔口 閉塞	-			-		
5. アンカー工		本	アンカー筋 飛び出し、引き抜け	-			-		
			頭部 コンクリート: 損傷・劣化・変形	-			-		
			頭部 キャップ: 腐食・損傷・変形	-			-		
			受圧板 劣化・損傷・変形	-			-		
			ワイヤー: ゆるみ	-			-		
6. 法枠工	1本	m ²	ひび割れ・破損	a	写-32・33・34	損傷なし	a	写-32・33・34	損傷なし
			その他	a			a		
7. 杭工・シャフト工		本	損傷・傾動	-			-		
			その他	-			-		
8. 擁壁工		m	ひび割れ	-			-		
			はらみ出し、変形	-			-		
			沈下	-			-		
			その他	-			-		
10. 堰堤工 床固工 帯工	1.0	基	ひび割れ	a	写真-35	損傷なし	a	写真-35	損傷なし
			欠損	a			a		
			洗掘	a			a		
			その他	a			a		
11. 護岸工		m	底盤 磨耗	-			-		
			コンクリート ブロック石積 ひび割れ	-			-		
			洗掘	-			-		
			その他	-			-		
11. 管理施設			損傷・劣化・腐食	-			-		
			その他	-			-		

その他特記事項

対象施設に含まれる工種ごとの
数量を記入。
対象施設に含まれていない工
種は、「-」を記入。

前回の点検結果を記入。
変状レベルをa、b、cで記入し、
点検項目の部位がない場合は、
「-」を記入。

前回点検時の点検項目に対応
する写真帳の写真番号を記入。

【点検個票 記入方法 地すべり防止施設(4/5)】

位置図を貼付。	全景写真 全景写真を貼付。
ルート図 車両進入ルート → 徒歩進入ルート → 道の駅 妹の里	
点検概要図(写真位置図) 点検概要図(写真位置図) 写真位置別紙(点検概要図)参照	

【点検個票 記入方法 地すべり防止施設(5/5)】

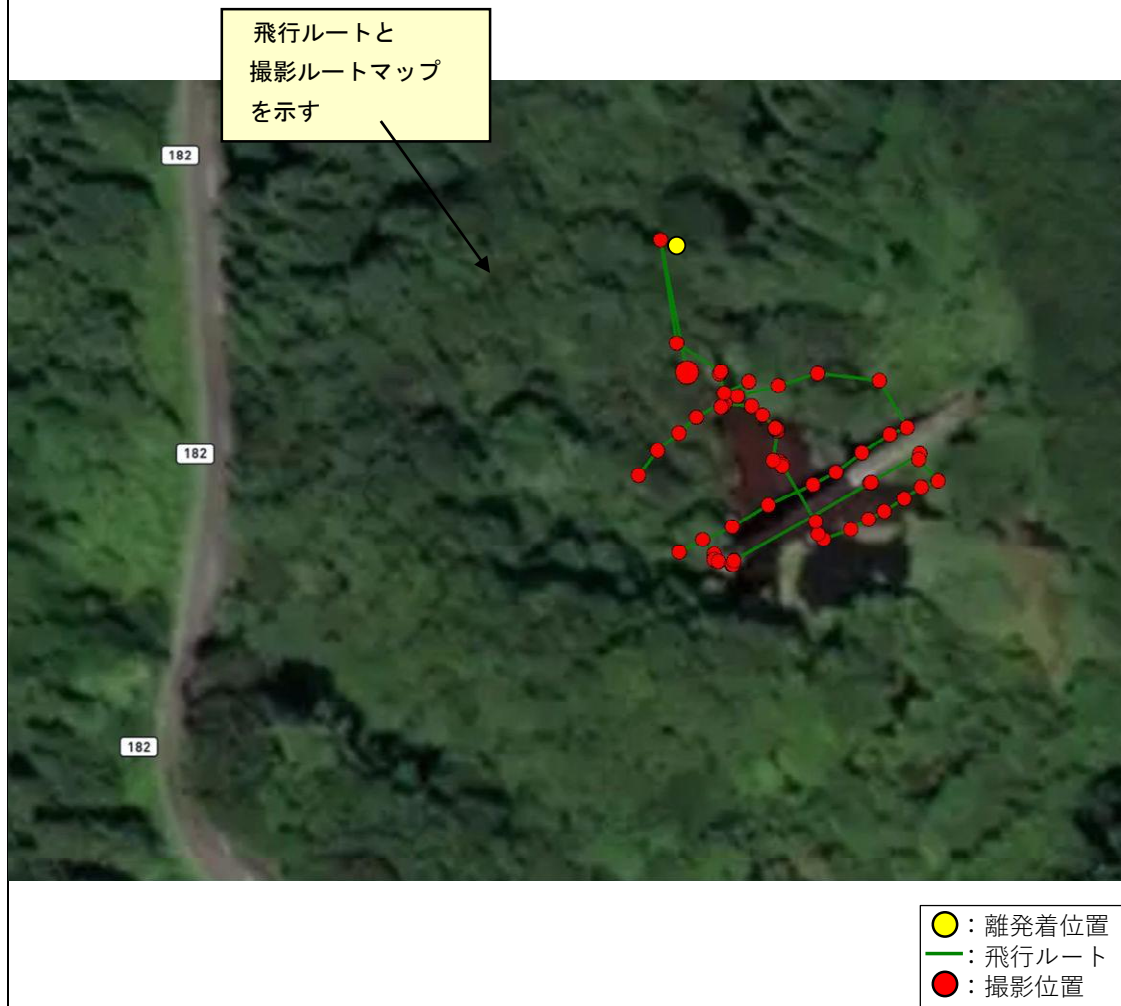
地すべり防止施設点検カルテ 写真帳

水路工、横ボーリング、落差工、片法枠工

前回の点検写真	今回の点検写真
写真-1 前回点検日を記入。 → 日付: R4.1.7  第5排水溝 帳記載なし、図面あり。施設概要に2-⑧として記入 前回点検時の写真を貼付。 写真-2 日付: R4.1.7  落差工① H=2.0m 写真-3 日付: R4.1.7  排水溝 W=50cm	写真-1 日付: R5.4.25  2-⑧第5排水溝 ※台帳番号:39 (新たな損傷が見られた。写真-39, 40) 点検時の写真 写真-2 日付: R5.4.25  落差工① H=2.0m 緯度 35° 10'02.8", 経度 135° 54'08.9" 写真-3 日付: R5.4.25  排水溝 W=50cm

【点検個票 記入方法 UAV を用いた点検記録(1/2)】

UAV撮影ルートマップ



コメント

【点検結果概要】

近接目視点検の結果と同様に、堰堤のひび割れや摩耗などが確認された。

【申し送り】

左右岸に樹木が繁茂するため、UAVの操作には注意が必要である。また、撮影時期は植生の繁茂状況を考慮して決めること。

【UAV点検の有用性】

今回の点検箇所のように、堰堤の上流側が湛水している場合は、堰堤の上流側での徒歩点検が困難である。UAVであれば、そういった箇所でも遠望、近接点検が可能である。

点検の有用性についてコメントし、
今後の活用に資する。

【点検個票 記入方法 UAV を用いた点検記録(2/2)】

写真番号 P01	写真番号 P02
俯瞰写真や拡大写真など そこから判断できる変状を記載する	
コメント 全景（上流方向）	コメント 右岸袖部の亀裂<レベル b>

写真番号 P03	写真番号 P04
コメント 袖部の破損・磨耗<レベル b>	コメント 左岸側袖部の背面。一部に軽微な亀裂が確認された。

	UAV遠望点検	UAV近接点検
点検の可否	可	一部で可
否の場合の理由	-	川岸や堰堤下流のような、樹木が繁茂している範囲の近接点検は困難である。
離着陸・操縦ポイント	副堰堤付近の露岩部上から離発着が可能である	
アクセス	県道182号より徒歩でアプローチ可能。10分くらい悪路を歩くので、大型のUAVを運搬するのは困難である。	
留意事項	川岸に樹木が繁茂しているため、撮影は堰堤が樹木の影とならないような位置から行うようにする。可能であれば、植物が落葉する時期に撮影を行う。	川岸に樹木が繁茂しているため、撮影中に樹木に接近しすぎないように注意する必要がある。

摘要の可否を判断した上で、
離着陸ポイントやアクセスを示し、
継続的な遠望堰堤に展開してゆく。